

『風光る前橋をめざして』

「夢」未来「安心」をキーワードに

高木市長の所信表明



先月十五日から二十九日まで、市議会三月臨時会が開会され、その初日に高木市長が所信表明を行いました。「夢」「未来」「安心」をキーワードとした、市政運営方針のあらましを紹介します。

今日の社会情勢は大変厳しい状況にあります。市議会との論議を深める中で、皆さんに納得のいく結論を出していくことが大切です。わたしは市政運営にあたり「夢」「未来」「安心」をキーワードに「風光る前橋をめざして」、無理、無駄のない政策の展開に全力を傾けます。政策はすぐに実行できること、すぐに変えられること、任期の中で実現していくことに分け、歳入歳出の均衡を図りながら実行していきます。

すぐに実行
していくもの

市長以下特別職の給料カット、助役を一人制へ変更して、歳出の削減を図ります。また、今年十二月五日に本市は大胡町、宮城村、粕川村と合併します。また、富士見村とも鋭意協議を行います。

つていきます。
若い世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくりが急務で、民間との連携を踏まえ、新たな考えで保育所の運営を行います。また、前橋再生には、女性や若者の力が不可欠です。男女共同参画を進めながら、市が委嘱する各種委員などに積極的に登用します。
加えて、市役所を市民皆さんの最大最高のサービス施設にするとともに、市民の声をさらに反映させていきます。

すぐに
変えられるもの

昨年十一月から有料化になった公民館・コミュニティセンター、運動場を含む学校施設については元に戻し、市民の皆さんの自助、共助の努力がより生かせる環境づくりを進めます。
また、家庭ゴミ処理費は今までどおり無料とし、減量化・リサイクルの促進、クリーンエネルギー対策に努めます。

任期4年間で
実現していくもの
くらしやすいまちづくりを進めます

「まちの顔」である中心市街地ににぎわいを取り戻すため、商業のみならず、文化、芸術、保健福祉、教育など、さまざまな要素を組み合わせた活性化策を進め、前橋デルタの有効活用を促進し、民間活力を導入します。横断的で専門的な組織を新設するとともに、市営駐車場料金の値下げをします。また、国際化、情報化に対応し、群馬大学を守る取り組みとともに、前橋工科大学の充実にも努めます。公共事業については、防災・救急に役立つ生活密着型の土地区画整理事業や街路事業などに取り組みます。
安心と生きがい大切にします

お年寄りのために介護施設の入所待機者ゼロを目指して整備を図り、在宅介護の支援や青少年健全育成、地域づくりにシルバークリートを発揮する「老人塾」をつくりまします。さらに、誰でもなりうるうつ病などの対策として、メンタルヘルス対策の強化、心身障害者施設の充実など、人にやさしいまちを目指します。
地方分権の推進と群馬県との協調を深めます
今、地方が独自色を出す時代

です。「女性塾」や「青年塾」を設置して市民パワーを結集し、群馬県と連携を強めながら、躍進する前橋を実現させます。
元気で活力ある県都を再生します

産業技術センターや前橋工科大学を活用した産業育成を図り、市長自ら先頭に立って、人材流出を防ぎ、雇用を確保するための企業誘致、企業撤退を防ぐよう努めます。また、首都圏、県都という立地を生かし、農村地域の滞在型余暇活動であるグリーンツーリズムなどを含め、地域に即した農業振興を進めます。
潤いある安全なまちづくりを進めます

歴史的建造物、史跡、寺院、神社などを生かし、景観や環境に配慮した文化の薫り高いまちづくりを進めます。また、関係機関・団体と連携し、まちの安全や公共交通の整備を進めるとともに、適正で効率的な土地利用を図ります。

元氣なことも・たのしい学校を実現します

ゆとりある学校教育や芸術文化・スポーツ活動の振興、地域の教育力の活用などを進め、人間性あふれる元氣な子どもの育成を目指します。また、市立前橋高校の中高一貫校への移行は抜本的に見直し、高校単独で教育の充実・発展を目指します。